

学校教育学科の紹介

1. 教育の目的

本学科は、本学の小学校教員養成が伝統としてきた人格の育成と深い子ども理解、学童期から思春期における子どもの変化過程への理解を理念とし、教職に対する高い使命感と確かな教育観・子ども観を身につけた教員の養成を目指します。

2. カリキュラムの特徴

初等教育を基盤として、小学校－中学校の連携を見通すことができる教師としての資質・専門的な力を身につけるため、以下のようなカリキュラムを編成しています。

1年次には、自らの知的好奇心を刺激し、幅広い教養と総合的な判断力、豊かな人間性を育む共通教育科目を学ぶとともに、小学校の全教科を担当できる実践的指導力を養成するために、「教職概論」など教師となるための基礎的科目、全員必修の「理科実験・観察」・「図画工作実技演習」・「音楽実技演習」などの実技・実験系科目、「特別支援教育概論」など特別なニーズをもつ子どもたちの理解に関する科目などを学習します。

2年次から、得意分野をもった教師となるために、12の専門分野（教育実践学系、特別ニーズ教育系、心理臨床系、国語系、社会科学系、算数・数学系、自然環境科学系、生活環境科学系、音楽系、図工・美術系、体育系、英語系）のいずれかに所属して学習を進めます。また2年次から3年次にかけて、子どもたちの主体的・能動的・創造的な学習を支援できる教師となるために、各教科の指導法の科目を学習し、併せてICTなどさまざまなリソースの活用法を学びます。さらに3～4年次の「専門演習Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」「Ⅳ」では少人数のゼミ形式で共同的に学び合い、資料を収集・分析・考察して、最終的に「卒業論文」にまとめます。

学校現場での活動は、1年次の「教育フィールド研究Ⅰ」での学校現場見学からスタートし、2年次・3年次に大学での講義と並行して、「Ⅱ」「Ⅲ」などの実践科目を履修、3年次後期～4年次後期の「教育実習」へつなぎ、最終的に4年次後期の「教職実践演習」でまとめます。

また「海外教育事情研修」（海外の大学での教師教育プログラム、2～3年次に参加可能）や英語系専門科目（「第2言語習得研究」など）、国際教育学科の科目を学習することで、国際的な視野や感覚をもつことができます。

3. 免許・資格

◎取得できる免許

学校教育学科は小学校教員としての力量を基礎に、中等教育をみすえた教育をできる教員養成を行っています。したがって、主免許は小学校教諭一種免許ですが、他に副免許を取得することも可能です。

副免許として取得できるものは、特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）、中学校教諭一種免許状（数学、理科）、中学校教諭一種免許状（国語、社会、英語）、高等学校教諭一種免許状（国語、地理歴史、公民、英語）があります。また、学校図書館司書教諭の資格も取得することも可能です。（詳細は本学HPをご参照ください 「都留文科大学 教職課程・資格取得」で検索。）

特別支援学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状（理科）の取得に際しては、一定の条件を満たす必要があります。

中学校教諭一種免許状（英語）取得に際し、入学までに実用英語技能検定（英検）2級相当の英語力を身につけておくことをお勧めします。また、教育実習までに英検準1級相当の英語力を身につける努力が必要です。

なお、時間割の都合から、高等学校教諭一種免許状（国語、地理歴史、公民、英語）、または二つ以上の副免許は4年間で取得しきれない場合があります。

◎取得できる資格

図書館司書、博物館学芸員、社会教育主事、日本語教員養成課程修了証、ジェンダー研究プログラム修了証、環境ESDプログラム修了証

4. 就職・進学

令和2年度の初等教育学科卒業生は、117名（うち正規採用は81名）が小学校教員に採用されました。教職以外では、民間企業や公務員への就職も増えています。また、本学の文学専攻科教育学専攻（1年制）や大学院臨床教育実践学専攻、他大学の大学院への進学も増加しています。

5. 入学試験

本学科では、前期日程、中期日程の一般選抜のほか、受験生の皆さんの得意分野を評価する以下のような学校推薦型選抜、総合型選抜を行っています。

「学校推薦型選抜（一般）」 「大学入学共通テスト利用学校推薦型選抜」 「総合型選抜（音楽・図画工作・体育・自然環境科学）」

（※複数受験可。詳細は学生募集要項をご覧ください）